

三上小学校

左義長体験



毎年、地域の方々の協力で左義長体験をしています。 左義長とは、小正月に行われる日本の伝統的な火祭りで、正月飾りや書き初めを焚き上げて無病息災、五穀豊穡を祈る行事です。

三上小学校の同窓会の方々を中心に、前日からやぐらとなる竹を切り、5年生が刈った藁を準備。当日は朝から20名ほどでやぐらの作成。やぐらを立てるのは6年生。自分たちの書き初めを付け、2方向に分かれて番線をひっぱりやぐらを立てて完成です。

やぐらが立ったら、1年生から5年生も書き初めを付けたら準備完了。各学年の代表が松明をもち、風上から点火をして焚き上げます。子どもたちは炎が巻き上がる度に歓声をあげ、大人も子供も、年に一度の季節の行事を体験しました。

三上小学校では、その他にも三上山登山や田植え、天保義民祭など、地域の伝統行事を体験したり、三上の未来について地域の方々と話し合ったり地域に根ざした学習が進められています。